

たが

2016年 5月 (第149号)

こんにちは 
議会です!!

(滋賀県多賀町)



夢と希望を応援します(4/8 多賀中学校入学式)

- 新年度の予算を審議 2
- 2月定例議会 6
- 町長の行政報告 7
- 委員会審議 8
- 新体制が決まる 10
- 町政を問う(一般質問) 12
- たが いいところ 再発見!! 18

使いみちは？

若者定住、子育て支援、山間地の活性化事業はじまる

一般会計 43億8,000万円 (前年度比8,700万円減 1.9%減)

財源は？

28年度予算を審議

防災・行政事務・その他

- 総務費 5億6,166万円
- 消防費 2億2,577万円

将来への積立て

- 諸支出金 1,238万円

地方債の返済

- 公債費 ... 4億1,617万円

まちづくり

- 土木費 5億8,925万円
- 農林水産業費 2億5,418万円
- 商工費 3,996万円
- 議会費 7,287万円



絵馬通り改修工事はじまる

教育・生涯学習

- 教育費 7億2,533万円



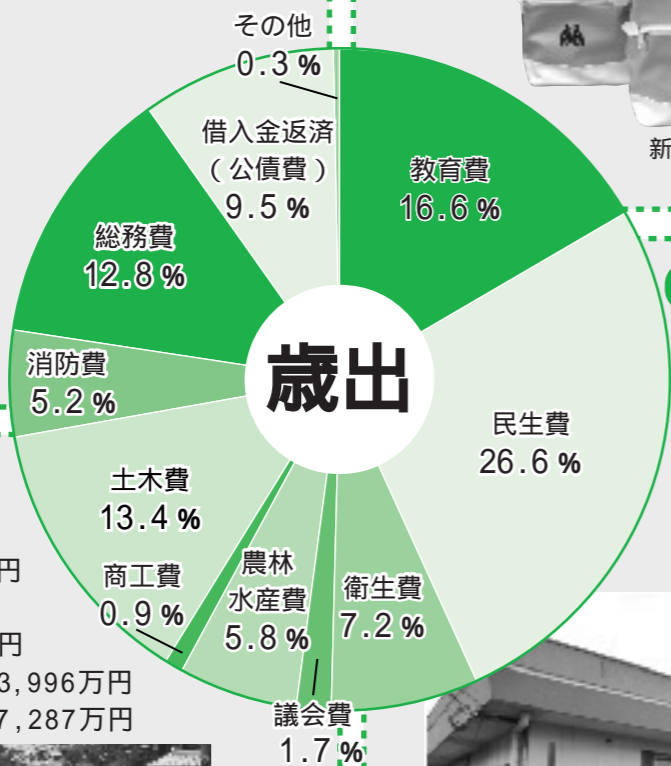
新入学生への通学助成

健康づくり・福祉

- 民生費 ... 11億6,506万円
- 衛生費 ... 3億1,333万円



小規模多機能型介護施設へ



借入れ金(地方債の新規発行)

4億4,030万円

- 臨時財政対策債 2億円
- 公共事業債 1億0,720万円
- 防災・減災事業債 9,050万円
- 教育施設事業債 1,020万円
- 一般単独事業債 3,240万円



町税

17億7,943万円

- 住民税(個人×法人) 5億7,902万円
- 固定資産税 ... 11億2,671万円
- 軽自動車税 2,630万円
- たばこ税 4,600万円
- 鉦産税 140万円



地方交付税

市町村の均衡をはかるための交付金

8億円

国庫支出金

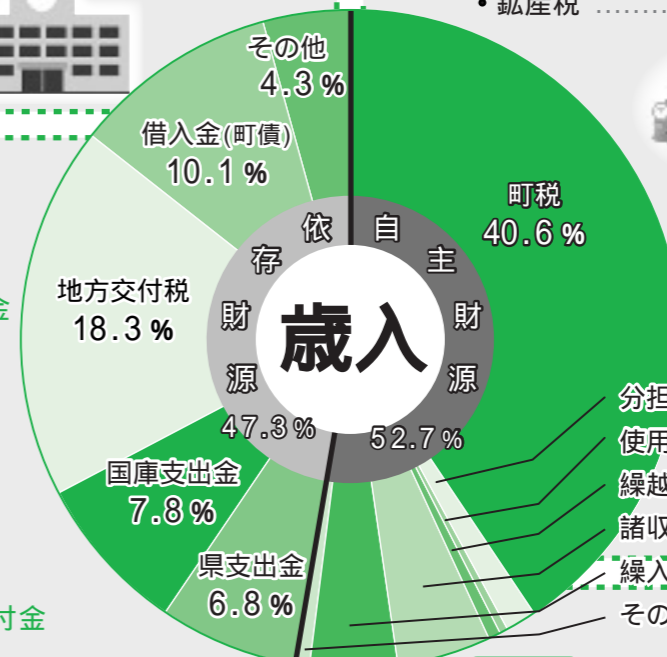
国が使用目的を特定した交付金

3億4,022万円

県支出金

県が使用目的を特定した交付金

2億9,845万円



その他 6億7,314万円

- 前年度からの繰越金 4,000万円
- 他会計からの繰入金 2億0,033万円
- 諸収入 1億8,853万円
- 分担金・負担金 6,715万円
- 使用料・手数料 1,781万円
- 財産収入 656万円
- 寄付金 1,059万円

特別会計・企業会計の予算が可決されました。

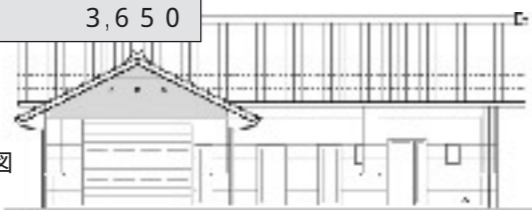
区分	予算額	前年対比(%)	おもな事業
国民健康保険	9億4,103万円	1.1	医療費給付、特定検診
介護保険事業	7億7,825万円	0.7	介護給付、介護予防、日常生活支援事業
後期高齢者医療事業	9,789万円	2.6	保険給付費
育英事業	388万円	18.8	奨学資金の給付
工業団地緑地維持管理	510万円	29.8	草刈りなどの維持管理
芹谷栗栖地域振興事業	3,045万円	90.6	町道整備、地域おこし協力隊

区分	予算額	前年対比(%)	おもな事業
下水道事業	4億7,765万円	5.8	マンホールポンプ場改修
農業集落排水事業	5,460万円	0.5	処理場の修繕
多賀財産区	18万円	17.3	議会費、財産管理
大滝財産区	126万円	8.2	議会費、財産管理
霊仙財産区	17万円	0.0	議会費、財産管理
上水道事業	6億4,293万円	24.1	配水管布設替工事

おもな予算項目	(万円)
川相消防センター建設関連	1億7,100
まちづくり活動支援交付金	2,125
空き家改修モデル工事	1,000
空き家バンク制度奨励金	250
ふるさと納税記念品	500
多賀スマートインター事業	345
6町クラウド	4,573
あいのりタクシー負担金	1,882
コミュニティバス補助金	3,650

防災・行政事務

(消防費・総務費)



川相消防センター完成予定図

問 川相消防センター建設費用の内訳は

答 土地と建物の整備に4700万円。消防車の購入に2400万円。

問 空き家改修事業の内容は

答 川相地区を中心とした大滝地域であり家改修をすすめる。若者定住を図り、活性化や児童数の確保につなげる。

問 まちづくり活動支援の今後は

答 交付金は3年目を迎える。今後も集落で計画をつくり、継続していく。



まちづくりに活かして

おもな予算項目	(万円)
絵馬通り活性化事業	250
商工振興	2,969
橋梁長寿命化	4,352
緑のふるさと協力隊	295
獣害対策	3,409
青年就農給付金	150
環境こだわり農産物交付金	1,116
農村まるごと保全向上対策	1,915
森林環境学習委託	895
森林資源利用促進	576

まちづくり

(商工費・農林水産業費・土木費)

問 絵馬通りの活性化事業は

答 絵馬通りの景観設計や、誘客促進、にぎわい創出事業を実施する。まちなかだけでなく、多賀大社前駅周辺、四津屋も含めて計画を立てていきたい。

問 緑のふるさと協力隊活動内容は

答 今年は大杉地区に住んで、山林組合の協力も、えながら地域の活性化につなげたい。

問 獣害対策の計画は

答 昨年度二ホンザルの捕獲を目的に、大型おりを2基設置した。70頭を捕獲した。今後も継続していく。



設置された大型おり

教育・生涯学習

(学校教育費・社会教育費)



町産木材を活かす

問 中央公民館の事業内容は

答 町産材で木材調達を始める。木材量は3500m³である。

問 幼児教育の議論の経過は

答 大滝地域の幼児教育について議論した。子ども園化をすすめる。多賀地域についても今年度に議論を始める。

問 中学生海外研修の計画は

答 8人の参加を見込んでいる。申し込みがそれ未満なら実施しない。



語学力の向上へ

問 放課後児童クラブ人件費の内訳は

答 所長1人を新たに採用し内容の充実を図る。教師Bを嘱託として採用する。

問 不妊治療の内容は

答 従来の特定不妊治療を受け、追加の治療を受ける場合に対して5万円を助成する。

問 地域医療介護事業の内容は

答 敏満寺の清涼ファミリーステーションを活用し、小規模多機能型の介護施設開業を補助する。

問 福祉医療費の内訳は

答 中学生までの医療費を全額補助している。

健康づくり・福祉

(民生費・衛生費)



問 各種検診の計画は

答 がんの早期発見のため、ピロリ菌検査を新たに追加する。2000人を予算化した。要綱を定める。

問 不妊治療の内容は

問 地域医療介護事業の内容は

おもな予算項目	(万円)
子育て支援	2,035
出産育児助成	286
不妊治療助成	140
社会福祉協議会補助	3,407
老人福祉	6,820
保健事業	3,905
地域医療介護事業	3,758
シルバー人材センター補助	1,000
障がい者自立支援費	1億3,785
福祉医療費	7,427

2月定例議会



住みやすさをめざして
第5次総合計画(後期)を議決

条例が制定されました

制定
行政不服審査会条例

条例が改正・廃止されました

改正
行政不服審査法関係条例
建築物の制限に関する条例
職員の勤務時間等に関する条例
職員の特殊勤務手当に関する条例
人事行政の公表に関する条例

廃止
事務用品調達基金に関する条例
一般廃棄物処理用袋購入基金に関する条例
デイサービスの設置管理に関する条例

町道に認定されました

水谷線
月之木グリーンヒル線



道路予定地

願請1件を採択し
意見書を提出

T P P 交渉に関する
意見書を提出します

おもな内容

- 交渉の合意文の開示
- 国会での議論を徹底
- 衆参国会決議を遵守

議会規則を
改正しました

議会規則
傍聴規則

施設の管理者に
指定されました

- 多賀福祉会館
● 管理者 多賀区長
● 管理者 土田区長



多賀福祉会館

- 清涼文化センター
● 管理者 敏満寺区長
● 管理者 川相区長



清涼文化センター

大滝山林組合の議員に
選ばれました

大滝山林組合議員

- 大久保宏徳氏
- 小林 喜次氏
- 山本 強氏
- 棚池 才進氏
- 三坊 直氏
- 神細工宗宏氏
- 辰野 則夫氏
- 田邊 和彦氏
- 辻田四郎行氏
- 喜多 昇氏
- 小林 外二氏
- 寺本 末昭氏
- 矢守 嘉嗣氏
- 新谷 康宏氏

監査委員に再任されました

- 寺西 久和氏 (大岡)

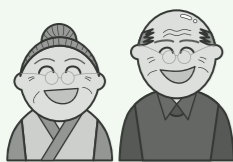
公平委員に選任されました

- 近藤 勇氏 (久徳)
- 岸本 弘司氏 (中川原)
- 岸邊 秀子氏 (尼子)

補正予算を審議しました

おもな予算項目	金額(万円)
個人番号カード交付事業	129
中央公民館建設木材調達	972
臨時福祉給付金	3,497
農地集積協力金	894
空き家除却(1件)	324
多賀幼稚園 改築	291
未熟児養育医療費	100
家屋評価システム	38
配食サービス	200

問 臨時福祉給付金は
年金が低額な高齢
者へ、3万円が支給
される。950人を
みこんでいる。4月
下旬から受付をする。
受付期間は7月まで
の3ヶ月である。



問 空き家除却の内容
は
南後谷地区で1件
を予定している。崩
落の危険性が高く、
町道への影響も予想
される。相続人も不
在であることから町
で除却することにした。
今後は、他の空き家
についても、空き家
対策協議会でルール
化を検討する。

町の総合計画を審議
臨時議会

第5次総合計画が
変更されました

- 28(32年度(後期)の
行動計画を議決
- ひと・まち・しごと
総合戦略を推進
- 人口減少に対応した
改革
- 農林業と観光による
まちづくり



後期計画

中央公民館建設木材
調達を契約しました

スギ、ヒノキなどの
町産材を

- 相手方
大滝山林組合
- 金額
1億4958万円

町長の施政方針

教育・福祉

杉の子クラブの利用を
週3回に増やし、充実を
図る。

敏満寺区内に小規模多
機能の介護施設を整備す
る。

川相生活改善センター
では認知症カフェを開設
する。

防災対策

川相支所の町有敷地内
に消防センターを建設す
る。大型消防車を配備す
る。山間地の防災施設の
拠点とする。



山間地の防災拠点へ

中央公民館建設

4月から生涯学習課を
本庁舎から中央公民館へ
移動する。充実を図る。

木材調達
をすすめる。

秋ごろ実
施設計には
いる。

新中央公民館イメージ図



まちづくり

多賀スマートインタ
ーは、実現に向けて準備会
が設立された。今年度中
に、実施計画書を作成し、
国に提出する。
過疎化が進む大滝地区
の活性化にも取り組む。



上水谷地区

ダム建設中止後の生活再建と振興を要望

ダム対策特別委員会



下水谷地区

問 事業が完了しているが、27年度で完了するのか。

答 今回の時点では完了できると考えている。

問 県の芹谷地域振興事務所は解散されるのか。

答 湖東土木事務所と協議している。

問 空き家除却の財源は、国の補助事業を活用するが10年間借受ける。

答 22戸。

問 家屋改修支援は、

県・町の事業を検証・要望

年度	県事業	町事業
平成23年度	(県と多賀町で芹谷地域振興基本方針を結ぶ)	
平成24年度	急傾斜対策、交差点改良	家屋改修、合併浄化槽、工業団地造成
平成25年度	現道拡幅、落石対策、浚渫(芹川)	防火水槽、空き家除却、集会所
平成26年度	現道拡幅(栗栖) 峰ヶ谷流路工	芹谷防災センター、集会所、防火水槽
平成27年度	現道拡幅(下村、宮前)	墓地駐車場整備、集落道整備



テレビ中継

開かれた議会へ

議会改革特別委員会

開かれた議会へ

庁舎テレビで議会中継

議会のホームページ

傍聴の充実

一般質問の資料配布

お茶の提供

議決権の強化へ

総合計画の変更を議会の議決権に

議案書の配布を早める

特別委員会の成果

住民さんの意見要望を踏まえて活動

町の将来を見据えた活動

対話による納得と理解

議会の役割と責任は

年度	おもな活動内容
平成24年度	議会改革について意見交換(以後 全24回)
平成25年度	議会改革特別委員会を設置、先進地視察(2カ所)
平成26年度	先進地視察(1カ所)、懇談会(2団体と)
平成27年度	議員定数と報酬について議論、「開かれた議会」をめざす議会基本条例の制定をめざすことに決定、懇談会(3団体)



健康 長寿のまちに

総務常任委員会

問 法律の専門家が必要では。

答 専門性のある方を選任する。

問 前納報奨金制度の廃止

答 町税の前納者が全体に占める割合は、法人205社、個人1563人で、44%。

問 後期高齢者医療事業

答 後期高齢者の人数は1302人。

問 10年後の人数は、

答 1836人を想定。

問 今後の事業は、総合計画にはどう明記されているのか。

答 明記はないが、高齢者に重きをおく施策を実施する。

問 介護保険事業

答 現在152人。

問 歳出のおもなものは、療養費、後期高齢者支援、共同事業への拠出金である。

問 国民健康保険

答 療養費、後期高齢者支援、共同事業への拠出金である。

条例の制定・改正を審議しました

特別会計の当初予算を審議しました



多賀神田地区 計画図

安全・安心のまちづくりを

産業建設常任委員会

問 減額の理由は。

答 森林管理道路と森林環境保全事業が取止め。

問 補正予算を審議しました

答 芹谷栗栖地域 振興事業

問 団地周辺のアクセス道の整備は。

答 団地内は事業者、外周の線路沿い道路は町で実施する。

問 高さ制限の内容は。

答 神田地区が第一種低層専用住宅地域に。

問 多賀神田地区の地区計画

答 条例の改正を審議しました

条例の改正を審議しました

特別会計の当初予算を審議しました

問 地域おこし協力隊は、最終年度である。

答 新規工事はどこか。307号の敏満寺南交差点にコンビニの出店予定がある。

問 下水道事業

答 芹谷栗栖地域 振興事業

問 請願を審議しました

答 TPP交渉に関する意見書の提出を求める請願書を採択した

新議員を紹介します まちづくりへの抱負は



川添 武史
議員

議会改革が重要
議会は町の最高議決機関です。議会の能力を充実するためにも、基本条例を制定し、執行部への監視機能、政策形成能力を向上をめざします。議員定数、報酬の改定にも取り組みます。



山口 久男
議員

福祉、子育て
一番の町に
子育て支援では、保育量の第2子からの無料化、幼稚園給食、通園バス、高校生の通学支援。
福祉では、愛のりタクシーの利用を充実させ、高齢者や障がい者の外出支援に取り組みます。



富永 勉
議員

住みよい町に
この度、三期目の当選をさせていただきました。これまでの経験を活かし、過疎化の問題や、獣害問題に取り組み、わが町の特性を活かした住みよい町づくりに努めます。



北川 久二
議員

安全で、安心して暮らせるまちづくりを
町の人口減少に歯止めをかけ、少子高齢化の問題に取り組みます。みなさんが住み慣れた地域で安全で安心して暮らせる元気のあるまちづくりに全力を傾注してまいります。



川岸 真喜
議員

たすけあい支えあいのまちづくりを
人口減少、少子高齢化などの問題が山積しています。
若者の定住が進むような魅力あるまちづくり。高齢者がいきいきと自分らしく暮らせるまちづくりに取り組みます。



竹内 薫
議員

笑顔あふれる多賀に
安全・安心のまち多賀をめざします。
みなさまの暮らしがより良く、自然と笑顔になる多賀をめざして頑張ります。



森 令三
議員

町全体にバランスのとれた支援を
町が抱える、地域格差を解消するため、中心部と山間部が共に発展するバランスのとれた支援をめざします。
住民の皆さまと共に、住みよい生活環境づくりに取り組みます。



松居 亘
議員

誠実・情熱・実行力を目標に
議員は住民の代表として、行政に対して監視・牽制の役割を担っています。
この役割を常に意識して、初心を忘れず議員活動をいたします。



尾谷 忠之
議員

改革なくして成長なし
多くの皆さまからお力添えを賜り感謝申し上げます。住民の皆さまの手となり足となつて、共に多賀の未来を創っていきます。
PDC Aサイクルで、より良いまちづくりを目指します。改革なくして成長なし。



木下 茂樹
議員

住民本位の議会議員を目指して
選挙で推挙いただいたことに感謝申し上げます。
その期待にこたえるため、住民のみなさんのために全力を尽くします。
広域行政の施策の充実に取り組みます。



議長
大橋 富造

副議長
菅森 照雄

新体制が決まりました

役職を紹介します

常任委員会

総務委員会

川岸 真喜

山口 久男

大橋 富造

竹内 薫

森 令三

木下 茂樹

産業建設委員会

川添 武史

北川 久二

菅森 照雄

富永 勉

松居 亘

尾谷 忠之

広報委員会

竹内 薫

川岸 真喜

川添 武史

山口 久男

富永 勉

川添 武史

竹内 薫

川岸 真喜

特別委員会

議会改革

菅森 照雄

山口 久男

(ほか議長を除く全議員)

ダム対策

山口 久男

菅森 照雄

(ほか議長を除く全議員)

一部事務組合

彦根犬上管林組合

大橋 富造

山口 久男

松居 亘

木下 茂樹

尾谷 忠之

彦根愛知犬上
広域行政組合

大橋 富造

木下 茂樹

湖東広域衛生管理組合

大橋 富造

菅森 照雄

北川 久二

議長あいさつ

より良いまちづくりをめざして
このたび多賀町議会の議長に就任させていただきます。住民の皆様への負託に応え、信頼される議会運営を目指します。

本町も人口減少、高齢化が進むなか、経済・社会の変化に対応した改革が求められています。
多賀町議会は、行政との二元代表制のもと、互いの役割を担い、地域の独自性のあるまちづくりをめざし、課題に全力で取り組んでまいります。

副議長あいさつ

誰もが安心して暮らせるまちづくり
このたび副議長という重責を担わせていただき、感謝いたします。住民目線で円滑な議会運営を目指します。

本町は少子高齢化、農業や商業の再生、観光、教育、福祉の充実など様々な課題があります。
議長を補佐し、皆様のご意見、ご理解を得ながら、行政との議論を深め、誰もが住みやすいまちづくりを目指します。



菅森 照雄
副議長

質問1

クラウドファンディングの手法で町のPRを

—企画課長—

ふるさと納税に活用している

田畑 喜久弘



図書館の様子

企画課長
〔答〕現在、ふるさと納税制度による資金の活用が、クラウドファンディング

今後も、多賀町ファンを増やすための施策を展開していく。

問 事業の財源として、広く国民全体(クラウド)から寄付などで資金を調達(ファンディング)する手法がある。国や県の補助金でカバーできない事業も可能となる。資金調達の際に、町の紹介も可能となり、宣伝効果は大きい。今後、この手法を用いた事業を進めては。

(国民からの資金調達)にあたる。ふるさと納税での納税者に対しては、納税証明書を発行し、特典を付加している。町産の米や地酒を送っている。ふるさと納税による資金を財源とし、まちづくり事業に充てている。昨年、町立図書館で隣接市町の方にも図書を出し出すサービスを開始した。

質問1

平成28年度予算と事業評価は

—町長—

大変重要と認識している

川添 武史



問 国の方策として、法人税が減額される。町への影響とその対応は。保育園の増築、児童ク

ラブの新設など外身は作ったが中身が伴わない。保育士の確保と策は考えたか。柏葉団地の芝グラウンドにトイレが無い、設置の考えは。高齢者対策は、互助の時代に来ている。各字で高齢者向けの事業をされている。補助金を配布できないか。先進地の市町では、主要な施策の事業評価を公表している。本町は。

町長
〔答〕影響額は約5000万円。経常経費の抑制や消耗品の5%カット実施。新規に正規職員を6人採用。近隣公園にトイレがあり現時点では、そのトイレを使用いただきたい。社会福祉協議会と連携を深め取組みを進めたい。他市町を参考に取組み方法を検討したい。

質問2

公有財産調査はどこまで進んだか

問 本年度で調査が終わるときいたが、漏れはないか。賃借物件の調査もできているか。

副町長

〔答〕27年度末の完成を目指している。教育委員会関係についても調査をした。定期監査で財産管理状況を示し、適切に管理、処理をしている。



ささゆり保育園(増築部分)

質問事項 ページ

田畑喜久弘	13
クラウド・ファンディングの手法で町のPRを	
川添武史	13
28年度予算と事業評価は公有財産の調査はどこまで進んだか	
土田一善	14
企業誘致と地元採用は小中学生の学力向上対策は人口増加のための具体的対策は多賀小学校門までの融雪設備を小規模多機能介護施設の建設は	
大橋富造	14
高速道路の塩害問題解決は芹川の浚渫工事を28年度当初予算の方針は	
山口久男	15
中学校給食の改善と給食費の軽減は住民アンケートの内容を実現する施策は梨ノ木地先の交差点に信号機設置を	
富永 勉	15
集落の維持と活性化は	
川岸真喜	16
SL譲渡問題の経過は民生委員の役割は集落連合の可能性は今後のクマ被害防止対策は	
竹内 薫	16
融雪装置の設置計画は	
深田治夫	17
幼児教育のあり方はデマンドタクシーを	

2月定例議会 9人が一般質問 町政を問う

質問1

中学校給食の改善と給食費の軽減は

—教育総務課長—

献立検討委員会で指導・検討する

山口 久男



多賀中給食(ランチルーム)

問 中学校給食について、食材の質の向上、地元産野菜の使用状況、改善のための指導、食材のチェック体制、献立を町が作成、給食費の軽減、幼稚園給食の実施を。

答 教育総務課長 10項目の基準を示し、食材の質の向上を図り、品質管理を行っている。全ての食材を地元で調達できないが、地元野菜の促進に努めたい。献立検討委員会を開催し指導している。難しい。継続し検討し協議を重ね向上に努めたい。あり方検討委員会の意見を参考にし、検討したい。

問 食料の質の向上、地元産野菜の使用状況、改善のための指導、食材のチェック体制、献立を町が作成、給食費の軽減、幼稚園給食の実施を。

答 教育総務課長 10項目の基準を示し、食材の質の向上を図り、品質管理を行っている。全ての食材を地元で調達できないが、地元野菜の促進に努めたい。献立検討委員会を開催し指導している。難しい。継続し検討し協議を重ね向上に努めたい。あり方検討委員会の意見を参考にし、検討したい。

地域整備課長
答 彦根署や県警に足を運び要望を重ねましたが、交通量の問題や予算の関係から、設置が困難だが県と協議して行きたい。

梨ノ木地先の交差点 信号機設置を

質問3

町長 27年度までの取組みを精査し、28年度以降新たな支援策を検討したい。

答 支援金を活用している。医療費が前年度の1.5倍となっているが、値上げは考えていない。

答 27年度までの取組みを精査し、28年度以降新たな支援策を検討したい。

問 国の支援金を活用し、国保税などの負担軽減の実施は。

答 子育て支援について、高校卒業までの医療費の無料化の考えは。

住民アンケートの内容を実現する施策は

問 国の支援金を活用し、国保税などの負担軽減の実施は。

答 子育て支援について、高校卒業までの医療費の無料化の考えは。

質問2

質問1

集落の維持と活性化は

—町長—

必要な事業を精査し、進める

富永 勉



問 多賀町は将来、消滅の可能性を指摘された。本町の中で限界集落や準限界集落はいくつもある。若者は、どうしても集落での生活を嫌い、魅力的な都市部での生活に目を向け、成人するころには集落から離れて行く。いつか戻って集落を支えようとする考えは、あまりない一方で、Uターン率はそれほど高くない。町内においては、共同作業や伝統行事の維持が難しい集落もある。多賀町における限界集落と準限界集落の現状と今後の施策について。



集落の活性化(大滝神社古例祭)

町長 現時点での当町の実態は、準限界集落と言え集落は、28集落存在し、14集落存在している。これからの施策を進める上で、地域の皆さんの声を可能な限りお聞きしながら地域に向き、これまで取組んできた。今後は、これまでの調査の集約を進め、必要がある事業を精査し、将来を見据えた取組みを進めるよう検討して行きたい。



ICT授業風景

質問1

企業誘致と地元採用は

—町長—

雇用をお願いしている

土田 一善



問 工業団地には多くの進出企業がある。町の住民が働ける場所となつてほしい。

町長 進出企業には、可能な限り地元雇用をお願いしている。

問 学力テストの結果状況を公表してはどうか。

答 県では市町村別、学校別の順位などの公表をしていない。

問 工業団地には多くの進出企業がある。町の住民が働ける場所となつてほしい。

町長 進出企業には、可能な限り地元雇用をお願いしている。

問 工業団地には多くの進出企業がある。町の住民が働ける場所となつてほしい。

町長 進出企業には、可能な限り地元雇用をお願いしている。

問 学力テストの結果状況を公表してはどうか。

答 県では市町村別、学校別の順位などの公表をしていない。

問 学力テストの結果状況を公表してはどうか。

答 県では市町村別、学校別の順位などの公表をしていない。

問 学力テストの結果状況を公表してはどうか。

答 県では市町村別、学校別の順位などの公表をしていない。

問 学力テストの結果状況を公表してはどうか。

答 県では市町村別、学校別の順位などの公表をしていない。

問 学力テストの結果状況を公表してはどうか。

答 県では市町村別、学校別の順位などの公表をしていない。

質問3

質問1

高速道路の塩害問題解決は

—産業環境課長—

補償算定の結論が出ない

大橋 富造



問 問題提起から8年が経ち、いまだ解決を見ていない。27年度末までに最終結論をいただきたい。

答 今年度3回の協議を持ち、区長様にも現状の説明をしている。しかし

問 問題提起から8年が経ち、いまだ解決を見ていない。27年度末までに最終結論をいただきたい。

答 今年度3回の協議を持ち、区長様にも現状の説明をしている。しかし

問 問題提起から8年が経ち、いまだ解決を見ていない。27年度末までに最終結論をいただきたい。

答 今年度3回の協議を持ち、区長様にも現状の説明をしている。しかし

問 問題提起から8年が経ち、いまだ解決を見ていない。27年度末までに最終結論をいただきたい。

答 今年度3回の協議を持ち、区長様にも現状の説明をしている。しかし

問 問題提起から8年が経ち、いまだ解決を見ていない。27年度末までに最終結論をいただきたい。

答 今年度3回の協議を持ち、区長様にも現状の説明をしている。しかし

名神高速道路(塩化カルシウム)



名神高速道路

問 問題提起から8年が経ち、いまだ解決を見ていない。27年度末までに最終結論をいただきたい。

答 今年度3回の協議を持ち、区長様にも現状の説明をしている。しかし

問 問題提起から8年が経ち、いまだ解決を見ていない。27年度末までに最終結論をいただきたい。

答 今年度3回の協議を持ち、区長様にも現状の説明をしている。しかし

問 問題提起から8年が経ち、いまだ解決を見ていない。27年度末までに最終結論をいただきたい。

答 今年度3回の協議を持ち、区長様にも現状の説明をしている。しかし

問 問題提起から8年が経ち、いまだ解決を見ていない。27年度末までに最終結論をいただきたい。

答 今年度3回の協議を持ち、区長様にも現状の説明をしている。しかし

問 問題提起から8年が経ち、いまだ解決を見ていない。27年度末までに最終結論をいただきたい。

答 今年度3回の協議を持ち、区長様にも現状の説明をしている。しかし

質問1

幼児教育のあり方は

—町長—

特色ある教育・保育を

深田 治夫



特色ある教育を

問 少子化が進んでいる。特に大滝地区では深刻である。人口の減少は、幼児教育にも影響している。町の施策は。

答 町長 昨年度、幼児教育のあり方検討委員会において議論いただいた。3月に提言がまとまっている。

大滝地区の良さを活かした、特色ある教育や保育を実践したい。

町長 愛のりタクシーの内容変更については、広域での取決めで、協議会の承認と運輸局への申請が必要となる。

今後、可能な限り、地域の皆さんの意見を反映させる取り組みをすすめていく。

質問2

デマンドタクシーを

問 現在、近隣の1市4町で愛のりタクシーが実施されている。実際に利用しようとする、希望どおりに利用できないときがある。高齢者が幅広く利用できるよう改善を。

答 町長 愛のりタクシーの内容変更については、広域での取決めで、協議会の承認と運輸局への申請が必要となる。

質問1

S L 譲渡問題の経過は

—企画課長—

譲渡先を幅広く検討する

川岸 真喜



S Lの譲渡は

問 数年前、S L公園の機関車を譲渡する方針が示された。その後の経過は。現在、さびや塗装の剥がれ落ちがめだつている。現状での引き渡しは、メンテナンスをするのか。

答 企画課長 群馬県内の譲渡希望を取り下げられて以降、譲渡希望はなく、現在に至っている。

修理やメンテナンスは数百万円かかることから、現状で引き渡す。スマートインター整備計画もあり、周辺整備の点から、譲渡先を幅広く検討していく。

質問2

民生委員の役割は

答 現在33人の民生委員に活動をお願いしている。おもに外出が困難な高齢者への訪問と支援活動である。介護サービスの利用につながることも多い。

質問3

集落連合の可能性は

答 複数の集落が共同で要望書を提出できる。共同での活動に対しても支援を検討していく。

質問4

今後のクマ被害防止対策は

答 県がツキノワグマの生体状況調査の報告をする予定である。今後は看板などで注意喚起を促し、目撃されれば有線放送で情報提供する。

質問1

融雪装置の設置計画は

—地域整備課長—

水源確保が難しい

竹内 薫



融雪装置

問 近年、異常気象による、想像をはるかに越える現象が各地で起こっている。

冬季には、除雪作業中の高齢者の事故や通学・通勤中の事故をよく聞ききたい。

歩行者に融雪水がかかったり、凍結による転倒事故も懸念される。

今年度は、歩道用の除雪車を購入し、あけぼのパークから名神高速道路までの歩道除雪を行っている。

限られた財源の中では全ての通学・通勤の歩道を除雪することは困難だが、できる限りの歩道除雪を検討したい。

答 地域整備課長 融雪施設は、設備と維持管理に莫大な費用を要し、水源の確保の難しい地域は、集落除雪や個別の対応で検討していきたい。

視聴・傍聴アンケート

平成26年6月の定例会から、視聴・傍聴された皆さまにアンケートのご協力をお願いしています。



あなたの声をお寄せください



2月定例会でいただいた意見を紹介します

傍聴者が少なくて残念。

質問と要望を混同しているときがある。

日頃の情報収集力、データ分析力を磨いて町の暮らし向上に努めて欲しい。

委員会も傍聴してみたい。

傍聴者総数 ... 5人
回答者 ... 3人
回答率 ... 60%

テレビ中継

庁舎1階ロビーに設置の大型テレビに、本会議の様子を放映しています。お気軽にお立ち寄りください。

また、傍聴アンケートに、皆さんの声をお聞かせください。



アンケートに答えてね



たがいいとこ再発見!!

第9回

樋田と

栗栖

樋田

田中 一則さん

◎ 集落のいいところは、

◎ A 犬上川上流の山間地で高齢化も進み、世帯数は少ないですが、協力しあえるところです。

◎ 数年前から都会の中学生の「民宿」を受け入れ、集落での暮らしを体験してもらっています。



家族のように



民泊ならではの体験

◎ 民泊はどんな様子?

◎ A 私たちは浜松市の中学生を受け入れました。

◎ 2泊3日で山の暮らしを体験してもらえました。集落の住民との交流もでき楽しく過ごせたと感想をいただきました。いまでも交流があります。

◎ 民泊の受け入れが町内に広がるといいです。

栗栖

山田 陽太さん

◎ 栗栖での思い出は、

◎ A 緑のふるさと協力隊員に着任して1年、田んぼ仕事、サロンへの参加、お祭りへの参加など、多くの経験をしました。

◎ 東京から来た私は、田んぼ仕事など一度も経験したことなどなく、天気に左右されたり、獣害に悩まされたりと米作りの大変さを知りました。



田んぼ仕事



お多賀さんのお祭り

◎ サロンでは、スタッフとして、多くのお年寄りの笑顔に触れることができました。

◎ 春のお多賀さんのお祭りに参加して感じたことは、多くの馬や神輿などが列をなして行列し、とても風情のあるお祭りです。初めて見る光景でした。

◎ 多賀は魅力が一杯で、そんな多賀が大好きです。栗栖の皆様はじめ、お世話になった多くの方々に感謝して、1年間ありがとうございました。

議会を傍聴してみませんか? 6月定例会の日程予定

会期	本会議が傍聴できます。
6月7日	7日(火) 9:30~ 議案審議
6月27日 (21日間)	8日(水) 9:30~ 一般質問
	27日(月) 13:30~ 議案審議

※日程は変更になる場合があります。
議会事務局 ☎48-8126 (有線) 2-2011

原稿募集!!

たがいいとこ再発見!!

あなたの住んでおられる地域の自慢をお聞かせください。

◎ 応募資格 多賀町にお住まいの人

◎ 応募方法 2000字程度

◎ 募集期間 平成28年 7月8日(金)

◎ 地域の魅力を再発見できるコーナーをめざし、取材や写真撮影も伺います。◎ 議会事務局までご連絡ください。

飯盛木と青竜山



編集後記

◎ 新年度が始まり、議会メンバーも新体制に変わり、新たなスタートとなります。◎ 今まで以上に、議会の情報をより多く、より分かりやすい議会広報誌として、町民の皆様にお届けするよう頑張ります。◎ 何卒、宜しくお問い合わせ申し上げます。◎ 竹内 薫 記

発行 / 多賀町議会
編集 / 議会広報常任委員会

〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324
☎0749(48)8126 FAX0749(48)8131
有線 2-2011

ホームページ http://www.town.taga.lg.jp/
E-mail gikai@town.taga.lg.jp